

12月9日(月)

生徒の日記から

N. N

今日はまず最初にUCSDのキャンパスツアーに参加した。UCSDのキャンパスはとても広くて1つの町のような感じだった。また大学の勉強スペースでは日本よりグループワークをしている人が多いなと思った。齊藤さんから、日本とアメリカなどの経済の違いについての話を聞いた。正直、日本とアメリカはどちらが良いのか、まだ考えることはできなかったが、違う視点で日本を良くしようとしている齊藤さんはすごいと思った。また、ソーク研究所はとてもきれいな場所だった。

I. F

最初にUCSDに行き、その学生にキャンパスを案内してもらった。キャンパスはとても広くて、端から端まで4kmほどあると教えてもらった。多くの学生がUCSDと書かれたパーカーを着ていた。学生たちは充実した生活を送っているようだったし、楽しそうだった。次に留学生の齊藤さんからお話をいただいた。日本人がアメリカで日本のことを勉強することがとても役立つということなどが分かった。ソーク研究所では、施設見学で、建物がどのような工夫でどのようにして建てられたのかなどを教えてもらった。最後にラホーヤコーブに行きアザラシを見た。

A. M

アメリカの大学は日本とは違い、とても自由で生徒たちはみんなフレンドリーでした。せっかくアメリカに来ているのに、英語をあまり話さないのは、もったいないので、どんなことでもいいから遠慮せずに聞いていきたいです。日本人研究員の方のお話を聞いて、色々な観点から物事を見るのは大切だと思ったので、日本に帰ってからも実践していきたいです。

E. N

今日は、UCSDへ行き、構内を案内してもらった。想像していたよりずっと広くて、大学生がリラックスして勉強できるように、図書館が24時間開いていたり、ハンモックがあつたりして驚いた。特別講座では齊藤さんから貴重なお話をいただき、日本とアメリカの大学院の違いがわかったし、若い私たちがだからこそ多くの選択肢があるし、多くのことを経験すべきだと思った。ホストファミリーでは、1日遅れたが日本からのお土産を渡すと、涙を流すほど喜んでくれて嬉しかった。お土産を紹介するときに、分かりやすく説明できて良かった。とても濃い1日になった。